
わりといいかんじの球体

夕焼け

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

わりといいかんじの球体

【NZコード】

N6756D

【作者名】

夕焼け

【あらすじ】

0か1かだけの世界はとても素敵だけれど、残念ながらこの世界は0と1以外のもので溢れ返つてゐる。僕もまた0にも1にもなれなかつたうちの一人だ。世界は周る。不思議な球体。結局のところ僕はその曖昧で不確定なかたちこそが好きなのかもしれない。

完璧な球体がどうのいひの。

そんなふうにとどつかの偉い学者が言つてたよな気がする。

まあ、それはそれとして。

球体つて、なんか、なんだか幸せな感じする。

幸せとうか？

幸せそう？

うん、なんか、まあ、そんな感じ。

だから、じつ置き換えてみよう。

XやらYにとりあえず間に合わせの数を入れてみる、みたいな。

完璧なしあわせ。

うん、なんかそれっぽい。

”それっぽいかどうか”って結構大事だ。

少なくとも僕にとっては。

今のうちに言つておくけど、僕は文章を書くときに着地点について

はあまり深く考えない。

なんとなく、勢いで。

たどり着いたところが、行くべき場所だった、的な。

だから”それっぽいかどうか”は僕にとってとても大事。

……

話を戻そつ。

完璧なしあわせ。

なんだか哲学的な胡散臭さを孕んだ言葉だ。

完璧なしあわせなんてあるわけないよー。
そんなの当たり前ー。

多分こう感じる人ってわりと、多いんじゃないかなって思う。

うん、もつたいぶつた言い方したけど、ぼくもそう思つ。

完璧なしあわせなんて、多分ない。

ここで問題なのは、完璧なしあわせがあるかないかじゃなくて、
ないと分かつてゐるわりにはついそれを求めてしまう傾向が人にはど
うやらあるようだつていうこと。

完璧ななかたち。

綻びのない図形。

そんなしあわせ。

ないよ、そんなの、分かつてゐ、わかりきつてゐ。

はず。

ではあるけれど。

田々ぼくたちが口にする不満や愚痴の多くはそんな完璧な図形との不一致から生まれる気がする。

もちろん、完璧な図形を再現することは無理でも、それへの試みは大事だ。

よつ良く、よつ良くしていりや。

そういう考え方。

うん、とても大事。

ただ。

その試みをどれだけ重ねたところで、100%は永遠に訪れない。

だからぼくたちは妥協点を求める。

うん、このくらいならいいか。

そんな折り合い地点。

つまりは完璧との相違を受け入れるといふこと。

「こゝ、理想とはちょっと違うナビ、まあ、こんなもんでもよくね？」

追求と、妥協。

そのバランス加減がほんのすこしだけでもずれた感じになると、僕達の中になんだかアレな感情が生まれる。

そのバランスをとるのって、なんだか超むつかしい。

だから実際のところ不満や愚痴を田にする機会がとても多くなる。みんな、完璧な図形が存在しないなんて事はわかつてゐるのに、だから。

頭の中にある図形。

かんせんなるしあわせのかたち。

ぼくはあえて、それを少し歪めてみよ!といふ。

描く图形そのものがゆがんでれば、
きっと妥協とはちょっと違うやり方で田の前にあるものを受け入れ
られるから。

それは。

なんかちょっと不恰好な感じしちゃうのは否めないけど、
もはや球体と呼べるのかどうかも危つこふいん(なぜか変換でき
ない)だけど、

でもまあわりといい感じの球体

そんな球体にぼくはなりたい。

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連＝横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n6756d/>

わりといいかんじの球体

2010年10月12日20時20分発行